

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	1.9	BEEランク	A
建物名称	中央中学校	総合評価 ★★★★★			
建物用途	学校				
延床面積	9,352.23 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー ★★★★★	<p>省エネルギー性能 5.0 4.0 3.0 2.0 1.0 0.0</p> <p>雪処理 省資源等への取組</p> <p>緑化への取組</p> <p>この建物は特に 緑化への取組 が優れています</p>
	省資源等 ★★★☆☆	
	緑化 ★★★★★	
	雪処理 ★★★☆☆	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア					
A 省エネルギー				合計	20点 / 24点
Q1 温熱環境	スコア 1.0	LR1	建物外皮の熱負荷抑制	スコア	4.0
Q1 光・視環境	スコア 2.0	LR1	自然エネルギー利用	スコア	1.0
		LR1	設備システムの高効率化	スコア	10.0
		LR1	効率的運用	スコア	2.0
B 省資源等				合計	15点 / 23点
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0	LR2	非再生性資源の使用量削減	スコア	6.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR2	汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.0
		LR3	地球温暖化への配慮	スコア	4.0
		LR3	地域環境への配慮	スコア	2.0
C 緑化				合計	10点 / 16点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 2.0	LR3	地域環境への配慮	スコア	1.0
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 6.0				
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0				
D 雪処理				合計	2点 / 3点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0	LR3	地域環境への配慮	スコア	2.0

4 設計上の配慮事項			
A 省エネルギー			
<ul style="list-style-type: none"> ・自然換気の経路を確保し、階段室塔屋を利用した建物全体のドラフト換気を試みます。 ・自然光を活用し照明エネルギー低減を図ります。普通教室は廊下越しの二面採光を確保することで、照明エネルギーの低減を図ります。 ・太陽光パネルを設置し電力量の削減を図ります。照明器具は全てLEDを採用し、事務室系執務室や教室では明るさセンサーを併用することにより無駄な照明出力を抑えることで照明電力の削減に配慮します。 			
B 省資源等	C 緑化	D 雪処理	
<ul style="list-style-type: none"> ・外断熱採用により躯体を保護し長寿命化を図ります。 ・可変可能な乾式壁を多用し、将来的な施設改修に対応する施設とします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存樹木の一部保存と植樹により緑豊かな施設とします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・除雪に耐える外装材としてコンクリートを1階外壁の腰壁に採用します。 ・十分な堆雪スペースをグラウンドに確保します。 ・雪底による落雪に対する安全確保は、南側の雑壇形状により段階的に処理を行います。 	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される